いっぱい貼ったふせんは、成長のあかし!!

中部大学准教授 深谷圭助先生が開発・提唱している「辞書引き学習法」は、
こどもが自ら学ぶ習慣、考える力、語彙力、読解力を高めます。

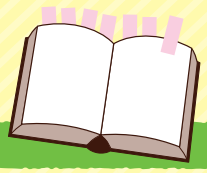


フカヤ・ケイスケ
深谷 圭助

1965（昭和40）年、愛知県生れ。愛知教育大学卒。名古屋大学大学院博士後期課程修了。公立小中学校教諭、立命館小学校校長を経て、現在中部大学准教授。1990年代から「辞書引き学習法」を開発・提唱し、自らすすんで学ぶ力の大切さを主張している。

ことばを探す
ふせんに書いて
貼って増やす
▶ ふせんが
増えていく楽しみ
達成感、満足感
▶ もっと知りたい…
学ぶ意欲、
好奇心
▶ なぜ?の連鎖
自ら調べる姿勢
▶ 身につく
学習習慣、
思考力、国語力

「辞書引き」学習法 ガイド



～習慣化させる3つのポイント!!～

辞書は、目につく場所に！

辞書引きを習慣化させるためには、辞書を目につく場所におき、カバーをはずし、いつでも引ける状態にしておくことが大事です。

毎日、10分から始めよう！

毎日10分くらい辞書引きの時間を作り、習慣化していくことが大事です。慣れていくと、自由に辞書を使いこなせるようになります。

ふせんが増えたら、ほめてあげましょう!

ふせんが増えたら、努力した分をほめてあげましょう。子どもはもっとやる気を出し、「辞書引き」学習の面白さにのめり込んでいきます。

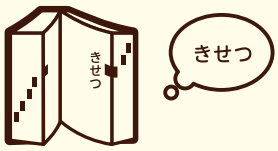
初めのうちは

やり方を教えてあげて、声をかけてあげましょう!
自発的に引くようになったら“こどもに任せましょう”

「辞書引き」学習法のやり方

❶ ことばを探す

まずはじめに、辞書を自由に開いて知っていることばを探しましょう。



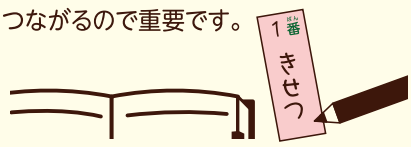
❷ ことばの「意味」「用例」を読む

ことばの「意味」「用例」を読みましょう。知っていると思っていても意外な発見や、新しいことばとの出会いがあります。



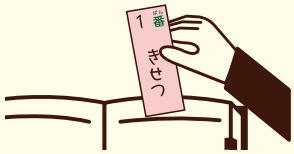
❸ ふせんに書込む

ふせんに通し番号と調べたことばを書きましょう。調べた数がわかるように通し番号を書くことは子どものやる気アップにつながるので重要です。



❹ ふせんを貼る

書込んだふせんを調べたページの余白部分に貼りましょう。



❺ 知らなかったことばを引く

さらに、「意味」「用例」の文中で知らなかったことばを引いて、ふせんをどんどん増やしていきましょう。



❻ ふせんに次の番号を書いておく

その日の学習が終わったら、
次は何番からかわかるようにあらかじめふせんに番号を書いておきましょう。

